

貯金が無い人は、無いほうにメリットを感じてる

晃：お金編、5回6回。こないだちょっと補足したかったのが、貯金をやるメリットをいっぱいあげさせたいな。結局貯金をしないメリットのほうが多いと貯金しないじゃん。その人の脳みその中にあるメリットの比率が多いほうを、みんな選択していくわけじゃん。か、嫌なものから逃れるかなわけじゃん。だから貯金したいと思ったら、貯金のメリットを増やせばいいわけだから、こんどワークやる時に、貯金のメリットをバンバンあげてもらおう。で、「ああそれ私もいただきだ！」と思ったら書いてもらおう。一人でいっぱい出させるとしんどくなるから、山手線ゲームみたいな感じで「貯金のメリット！」「困らない！」「人に頭を下げなくていい！」「安心感！」とかさ、それをいっぱい書き出してもらおう。いっぱい出るじゃん？

で、貯金のデメリットも出させたいの。「今使えない」「せっかく欲しいものを我慢しなくちゃいけない」と同時に、貯金があるメリット・貯金があるデメリット・貯金の無いメリット・貯金の無いデメリットも出させたいの。で、貯金が無いメリットもあるわけよ。「親戚にたかられない」「減る心配がない」「人から妬まれない」とか、その信じ込みを洗いざらい出させたいの。で、出して、「果たしてほんとにそうだろうか？」とか疑問符を持ったりするわけさ。結局その、今貯金が無い人は、無いほうにメリットを感じてるわけ。それをなんかいっぱい出させたいな

で、これをお金を稼ぐというワードでもやりたい。お金が稼げるメリット・お金が稼げるデメリット・お金が稼げないメリット・お金が稼げないデメリット

で、結構色んなその人の信じ込みの世界が出てくる。稼げないメリットもあるワケよ。「なんか支援してもらえる」「愛情を注いでもらえる」とか

鳥：ビジネスについて悩まなくてよさそうとか、サラリーマンのほうが考えずにお金を貰えるとか

晃：うん、その場合は稼ぐことがすごく難しいとか大変なことだという、信じ込みだよな。だからそれを一個一個検証して解決していけばいいよね。一回人間の脳みそって「嫌なもの」ってレッテルを貼ったら、そこで思考が止まるんだよね。あ、もう見なかった、みた

いなさ。なんか痛みを見たくないから、そこで思考を止めてさ。もうブラックボックスに入れてさようなら、みたいなさ。ビジネスを考えるのが大変だと思っている人は、面白いじゃんって思っている人と一緒にさせるとかさ。それは例えていうなら、もう女なんて信用しないっていう失恋状態の過去の僕がさ。なんか、恋愛って楽しいじゃんって（言ってる）奴に相談してると、「あ、恋愛っていいものなのかな？」そういう感じ？なんかそういうのを、参加者にいっぱい出してもらいたいな

文：これ、参加者全員でもう、共有しちゃったら凄い数になるよね。それは、凄くいいと思う

晃：で、これがその人の制限なわけじゃん。これを、サラッとやれるかな？やりたいなあ。で、貯金と稼げる人、あ、あとお金を貰うってのも凄いメリットとデメリットがあるよね。なんか、お金を貰うデメリットってさ、なんか「責任が付いてくる」とか、なんか「期待に応えなきゃいけない」とかさ。で、参加者によって左右されちゃうんだけど、面白いのは、Aさんはデメリットに感じてて、Bさんはメリットに感じてたりするわけよ。で、その二人でディスカッションさせると凄く面白いの。俺、前によくやらせたんだけどそういうの。例えばとりとりみたいに、ビジネスのことを考えると、凄くこう、「なんかちょっと大変」って思う人と、「え、なんか超チョロくて面白いじゃん」って言う人を、なんか、会話させるとかね

鳥：全く違う国のお話みたいな…あれ？みたいな(笑)

晃：そうそう、これ結構大きいんだよね。これ一人で考えるとしんどくてやらないの、みんな。デメリット三つ出ただけでも息切れしちゃうからさ。それをなんかライトな感じで出させると、面白いなと。なんかワーク的な感じでさ

文：これ全部、最後にまとめて補足資料で出してあげるといいよね。凄く助かると思う

晃：なんかそのリストがあるだけで全然ちがうじゃん

文：リスト欲しい

晃：欲しいよね。あと、なんかそのリストあるだけで、ほんとお金のアドバイザーになれるよね。なるほどこの人はこういうパターンの人か、とか分かってくるからさ。デメリットの多い人ってさ、やれって言ってもやらないからさ。例えばその、AさんとBさんをディスカッションさせながら、みんなどっち選びたい？って手を上げさせればいいわけじゃない。例えば「お金を稼ぐのってしんどいな」っていうのと「お金を稼ぐのってチョロいじゃん」って（いうのと）例え、稼ぐのが大変だと思っけていても、「これからの自分はどうっちを選択したい？」って選択させるの。「大変だ」っていう人も「いや、それはチョロいほうがいいです」ってなるじゃん(笑) じゃあ今までは確かにそうだったと。今この瞬間からは、どっちの意見を採用したいですか。で、「こっちです」って採用してもらおう。そうすると自分で採用できるからさ。自力で。でそっちの道にアンテナが出来始めるわけよ。アンテナさえ作っちゃったらさ、将来上手くいくわけだからさ。そっちにアンテナ向くようにしたいわけよ。その人に、意欲、ほんとはある意欲を。痛みがあると意欲を打ち消すわけじゃん。「いや俺もお金稼ぎたいけど、お金稼ぐと、超マジ大変だし。こんな大変な思いするならそっちにはアンテナ張らないで、なんかもう普通の方に振っところ」ってやるわけじゃん。で、もうそこで思考が停止するわけじゃん

鳥：確かに確かに

晃：でそれを、その先の世界で楽しそうにやっている人を見て、「まあ、今大変なのは分かったけど、これからどっち選ぶ？」って言ったら、「あっち」みたいに言うじゃん。それだけでこう、自動的に変わるからさ、人は。俺が変えなくても。人間関係とかもこれよくやってたんけどさ、恋愛で絶望した時にさ、恋愛で上手くいってる人のところ行ってさ。「どっち選ぶ？」って言って、「いや俺やっぱこっちの方がいいや」なんつってさ。なんか意外といい。このままこれ人間関係で使ってもいいよね。まあ、とりあえず貯金と稼げるか、かな。なんかこれはちょっと全般でやりたいかな。結構ね、大きいんだよね。それぞれ変な信じ込みがいっぱいあるからね

あと貯金できている人、稼げている人の思考回路も、紹介したいんだよね。面白いじゃない？だからこの人貯金するんだ、だからこの人稼げるんだとかさ。殆どの人が、身近な人とか親とかからの価値観そのまま受け継ぐだけじゃん。例えば俺なんかは、うちの両親のお金の浮き沈みが激しかったから、持ってた資産分以上のものを銀行から借り入れて、大変な目に遭っちゃったとかって表面だけ見ると、資産とか持っちゃった瞬間にマジや

ばいことになるんだ、じゃ持たないほうがいいっていうロジックをやってたりしたのね、かつて。で、痛みを感じた瞬間に、もうそこで脳みそがフリーズするわけよ。「もう銀行から凄い借金とかしちゃって、ほんと大変なことになるんだ。以上！」みたいになるの。だから資産もつと、全然銀行に借入れとかしてないのに「あ、借金持つ痛みとリンクする！」「あ…ううあああ、も、持たないで使っちゃえ！！」ってなるわけ(笑) それはおかしいじゃん。ちょっと冷静になれば分かるんだけどさ。なんかその人の信じ込みを解放しちゃうのとか

文：現状把握できるからいいよね。自分がなんで貯金が無かったのか、なんで稼げてなかったのか、メリットとデメリットの関係なんだっていうのが分かるよね

晃：そうそう。結局、天秤じゃないけどさ、自分が多くもってる信じ込みの方を採用するわけじゃん。あと一個のテーマでも、凄い痛みを伴っていると凄い重いわけよそれが。それを回避するような方向に行くわけじゃん。なんか昔、トラウマとかさ、スリーワンとかで解放した時にさ、凄いウケるのが、ほんのちょっとの、なんか見たテレビのドラマとかに影響されたりするわけよ。金持ちの息子は、火曜サスペンス劇場の最初の CM の間までに殺されてしまうとかさ。「そうなんだ」とか(笑)

文：ほんとそれあるんだよね。僕たちは「アーキタイプ」っていう言葉を使うんだけど。シンデレラとか白雪姫とか、物語でパターン化されてるものって全部潜在意識にスポンって入ってくるから。虐められているといつか王子様が来るとか、そういうのとかほんと入ってたりするんだよね。で、虐めてくれるような人を引き寄せるんだよね

鳥：で、王子様だけ来ない(笑)

晃：知ってる子が、キャンディキャンディに影響されて。キャンディキャンディは、最終巻は丘の上の王子様に会ってハッピーエンドなんだけど、最終巻だけ読んでなかったの(笑) だから大好きな人はみんな死んでしまうっていうのを信じ込んでいて、やっぱりそういう現実が起きちゃったりしていたから。で、なんか最終巻読んだらハッピーになったとかね。だからなんか影響されるんだよね

文：筋反射とかオーリングとかで見ていくと、ちゃんと全部入ってるんだよね。自分はこ

のストーリーを生きてみたいなのが。あれも怖いんだよ、ほんとに

晃：だからこういうのをやって、ストーリーを検証するっていうのをやりたいの。他人のストーリーも面白いわけよ。他人のストーリーは、めちゃめちゃみんな客観視できるのね。「いやいやそれ、おかしいから」みたいなさ。結構これやったら面白いよ。文ちゃんはお金を、例えば稼げるメリットの方が多いわけじゃん。稼げなかった時代もあるわけじゃん

文：うん、朝5時に起きて、弁当屋でバイトしてとか…やってたからね(笑) そのときには稼ぐメリットとかは、全くなかったんだよね、きっと

晃：で周辺に、稼いでいるメリットを得ている人達もいなかったでしょ。だから辞書とかに入っていないわけじゃん

文：舞台俳優とかって、みんな食えないとか。そういうのとかで、下積みを積んでいく、みたいなのが、稼げないメリットだったよね

晃：まじシンデレラの世界だよ。で、大変な思いして下積み積んだ方が、バーンと出世しやすいとか

文：うん、実力がつくとかね。

晃：これを一通りやったあとに、「今この瞬間から、どの生き方を採用したいですか？」って聞きたいよね。たとえばさ、さっきのとりとりの、稼ぐのは大変だ、と思ってるとするじゃない。で、いまもそれを持ち続けているとするじゃん。「じゃあ、今この瞬間から、どの生き方を採用したいですか？」って聞くわけよ

鳥：そりゃ稼ぐの楽なほう…

晃：だよ(笑) すると、そう思ってくれるとそっちのほうにアンテナが立つわけよ。すると、稼ぐのって楽だよってという人の情報がバンバン入ってくる
稼ぐのって大変だよって思っていると、大変だよってという人のアンテナばかり立つわけよ。俺もみんなも大変だみたいなさ

鳥：なんかよくお金ってこう、対価っていうじゃない。対価っていう発想だと、金額がでかくなると、あ、そんだけ求めている期待もでかいんだ…みたいな
で、対価だから応えなきゃ、みたいな

晃：で、応えられないと負担になってくるわけじゃん

鳥：そうそう。応えられるかどうかのプレッシャーが、本田圭佑が日本代表でゴールを入れられるかどうかぐらいの感覚にだんだんこう、なってくる気がして 怖いよねやっぱ。いっぱい貰うと

晃：怖いよね。だからお金をいっぱい稼ぐデメリットは、怖い、とかさ

文：対価を差し出さなきゃいけないとか

鳥：そうそう、「やっべえ 1000 万で来たよ、応えられるかな？」みたいな

晃：じゃ、分かりました、今から腹筋 100 回やります、みたいなわけわかんないこと、やるわけじゃん、みんな(笑)

鳥：そう。だからこの前晃ちゃんが言っていた、セミナーのファンクラブっていう発想はいいなと思って。ファンクラブの会員制、みたいな。ビジネスの。あ、ファンクラブだったら、ファンだったら、対価を求めてないな、みたいな。その形式だったらまだなんかいいんだけど、普通にビジネスとして考えると、「やべー、すげーもんつくんなきゃ」みたいな

晃：だから、そっちに意識が行っちゃってるんだよね。だから、そっちにアンテナが立って、そっちの人生のシナリオを、どんどん強化していくわけだよね

鳥：ものすごい職人、宮大工みたいな人に…

晃：そうそう、それはそれで喜びもあるし、全然オッケーなの。そこに何も疑問を持って

ない人は、全然それでいいと思うの。そこで得られる凄い名誉とかもいっぱいあるし、全然否定しないんだけど。ただ、合わなかったり、疲れちゃった時にさ。どう進路変更していいか分かんなくなるわけじゃん。あまりにも今までの信じ込みの量が凄すぎるから。だからこの目的はみんなのアンテナの角度を変えること。それだけで、入ってくるものが変わるからさ。自分の人生の舵を変えたい時ってさ、変えたい方向の世界で生きている人の、いい情報をいっぱい吸収しておくわけよ。で、俺こっち選びたい、ってやると、選べるわけじゃん。とりとりが思っていた、稼げるというデメリットに対して、「そんなこと思ってたの？信じられない！」みたいな人とか、会話させると面白かったりするわけよ。で、それをみんなに見せて、「お~!!」みたいなさ(笑)。椎くんだって、稼げるメリット多いわけでしょ？

椎：うーん、そうなんでしょうねえ…

晃：多すぎるんじゃないの？

椎：いやいや、そんなことはないですよ(笑)

文：椎くんはきっと、働かないメリットの方が多い

鳥：ああ、なるほど(笑)

椎：ああ、そういうのも、いいんじゃないですか？自分が望む人生のメリット・デメリットもいいですよ

晃：ああ、そうだね。それを定期的に総点検すると面白いよね。ただ、一人でやるとしんどいのね

文：一人で、できないよね…

晃：あと、「集団でやりましょう」って言っても、殆どの人が、みんな自分と同じぐらいの人しか周りにいないから。より、今のシナリオを強くして終わっちゃうから(笑) だから、こういうところで話させると面白いよね。こういう質問、そういえば俺してたからさ。「こ

の仕事やってるメリットってなんですか？デメリットってなんですか？」って。「もしやらなかったとしたら、どうでしたか？」とかさ。なんか色々聞いたもん、そういえば。で、検証して、自分の選択をしていくと、ちゃんと自立できるじゃん、その人。お金も貰う、ってこともやるかね？稼ぐ、と一緒に、これは。お金って、貰うものでもあったりするからね。受け取る、貰う、だから。

晴：よく言う、お金のブロック、みたいなものってあるじゃん。あれって、例えばそこに出てくる、妙な思い込み？その妙な思い込みって、さっき言うように、ああ、じゃあこれは変な思い込みだから、こうじゃない方向に止めよう、って言うと、結構無くなっちゃうものなの？

晃：そういう時もあるし、そうじゃない時もあるし。ぶっちゃけて言うと、ここって、全部いきなり変える、っていうのは、ほぼ不可能だと思っていて。で、俺も変えられてないものが山ほどあるわけよ。気付いて変わった瞬間は「これでもう悩み無いし、マジやったー!!」とか思うわけよ。でも実際はタマネギの薄皮一枚だけみたいだったりするわけよ(笑)でもなんか、それだけだったとしても楽しかったりするわけよ。最初は「なんだ一枚か〜」と気付いた時に、凄い失望したんだけど、一枚剥いただけで凄い見える世界とか、生き方とか、すげえ、変わってくるのね。途中から、薄皮一枚でも変わるって凄い「金」だなんて、今は思ってるから

鳥：その瞬間は嬉しいだろうけどね

晃：そう、すげえ嬉しいよ。そして、あったことを後で忘れるんだよ。そう、びっくりするくらい忘れるんだよね

大金のエネルギーに触れると、大金にびびらなくなる

文：ここで、ブレーキの外し方に相当するのであれば、なんかちょっと、自分の上限を超えさせてあげる、っていうのも。貯金とか稼ぐとかでも、たぶん自分で限界値って作ってるのがあるじゃない？この方法でやるなら、そのメリット・デメリット、みたいなもの

をやっていくのはどうだろう

晃：こないださ、文ちゃんが1000万をみんなに持たせたじゃん。あれって凄い大きいよね

文：うん。それも一つだね。

晃：大金のエネルギーに触れる、って、大事じゃん。俺ほんと子供の時から札束で遊んでたからさ。昔、うちの親父がさ。会員権の売買で今ほど銀行が発達してないから、今でこそそんなことしないんだけど、明日5000万円の取引があったっていうと、その5000万円をさ、家のピアノとかに隠してたの。なんかちょっと、変な音するから、分かるの。うちの妹とさ。「なんか中、入ってるんじゃないの？」って。「あ、5000万円あったよ」ってさ(笑) その5000万円で椅子作るんだよ。両肘付きの、背もたれも作って。で、そこ座って、「札束の椅子〜♪」とかって遊んでたんだよ

全：すごいな(笑)

晃：と、大金にびびらなくなるんだよね。で、俺、ほんと知らなかったのが、こう、大金を前にするとみんなびびるんだよね。「ははあ〜」みたいになってさ。そう、だから、お金のエネルギーに触れると大丈夫だし。前、なかなか稼げない、っていう人がいて、札束を跨いじゃいけないとか、触ったら手を洗わなきゃいけないとか(その人は)教わってたみたいよ。じゃあ、つってさ。1000万円を下に敷いて、その上に座らせて上から札束をバラバラバラ…って(笑) なんか与沢翼ごっこみたいになって、バラバラバラってやったけどさ、「気持ち悪い！」とか言ってたの。で、「今日は手を洗わないで過ごすんだぞ」とか言って(笑) そしたら、収入増えたからね。なんかあるよね、そういう、リミットね

鳥：それはなんかその、外から変える、感じなのかな

晃：そうね…まあ、荒治療っちゃあ、荒治療だよな

文：例えばとりとりだと、かつての、稼ぐ自分の上限とかって、どれぐらいに設定してるの？

鳥：どうなんだろう。稼ぐ自分の上限…。なんかね、文ちゃんのセミナーに出たときに感じたのがあって。1000万ってでかいんだな、自分の中で回すやつって。やっぱそれを持って、自分の手から、「はい」って移しちゃうって感じがあるから、そこが上限になってくるかな、という気が

文：それ以上だと、デメリットの方が多いなだね

鳥：うん、税金が気になる(笑) 払ったことないのに(笑) このすごい税金が、じゃあ払ったことあるの？ といえは無いんだけど、税金が大変になるんだろうな、どうせっていう情報が入っちゃって

文：っていう上限でこのメリット・デメリットやるのも、面白そうだなあと

鳥：確かに。稼げた喜びが、税金を引かれることによって、なんか、消されちゃう気がするんだよね。なんだよ、稼げたら、あ～、取られるのね、みたいな(笑) 「せっかく稼げたのにその喜び無くなりました、ハイ～」みたいな(笑) 残るのはあと、「チッ、国め」みたいな

文：そうするとまた、税金のメリット・デメリットみたいなね

鳥：そうそう、「税金が一番安くなるころがいいな」とか。「あれ？趣旨変わってない？」みたいな(笑)

税金の幸せな捉え方

晃：そういう人は、ぜひ思い切って目標を、今期は税金を倍払ってみる、みたいなね。嫌なことを一回思い切りやる、っていうね。で、意外と出すときは嫌だけど、出し終わってからは案外忘れるんだよね

鳥：確かに。スッキリするのもね

晃：でさ、税金ボンと納める時さ、モヤモヤしたワケよ前は。テレビで総理大臣がなんか言ってるさ、お前ちょっと俺に言えよ、とかさ。よく分かんないけどそういう気持ちになったりするんだよね(笑) 前でもさ、文ちゃんと一緒にゴルフ行った時に、だんだんそういうの経験して、なんか余裕出てきて笑えるようになると、「晃ちゃんさあ、いつもこの時期になると道路工事してて嫌だよね」「そうだね」「でも俺たちも、決算期が迫ると、あ、なんか税金が多いから経費ここの使ったとこってなるよね、で、あわてて使ったりするじゃん」って。「この人たちもお金を使わないといけないんだってなって、慌てて使うから、世の中そうやって回ってるお金もあるよね、あはははは」って、なんか、笑えたの。昔の俺だったら、「税金無駄にしやがって…！」とかさ。すげーなんかイライラしてたんだよね。そうやって世の中回って良くなってるお金もあるんだよね〜とかいって、二人でのんきに笑ってたよね

文：そうだね〜。片側車線だけ、綺麗に整備されてるんだけどね。「おい、反対側はどうした？」って(笑)

晃：そうそう、もうね、絵に描いたような無駄遣いなんだけどね(笑) ツッコミどころ満載の。じかもやたら時期長いし。すごい非効率だし

文：そう。「これ一日何台通る道なんだ」「山道だぞ」みたいな(笑)

晃：そうそう。すごい無駄だよね。だけどさ、それを、笑えたほうが幸せじゃん。なんだろう…それに対して憤慨する人生とさ、「なんだよこれ〜(笑)」と、笑っちゃえる人生だったらさ

鳥：工事現場のおっちゃん達のね、生活の足しになってるか(笑)

晃：なんか似たような金の使い方、自分もやってるんだよね。「やべえ、決算期で、結構今回税金払うよね〜じ、じゃあ、こ、これ買っとく？」みたいなね(笑) 「ヤバいやバいやバい」って言って(笑) そういうさ、ずるい自分も、いたりするわけじゃん。そういうのに、なんか笑ってオッケーが出るとさ、他人がやってても笑ってオッケーが出るからさ

文：誰でも一回はね、税金めっちゃめっちゃ払ってやろう、って決めたほうが(いいよ)。全然変わる、意識が

鳥：スッキリするのかな？なんかそんな気がする

文：そこに目標がいくからさ 税金払うっていう目標

晃：だって、払ったら、残るからね

文：払うためには…あ、稼がなきゃ、みたいな

鳥：違う動機が生まれてくるのかな

文：うん、全然違うところから

晃：単純に、世の為、人の為に、なるからね。無駄遣いはあるけどさ。パーセンテージから言ったら、日本って国はめっちゃめっちゃ少ないと思うんだよね。発展途上国とか…マジどんな使い方されるか分からないじゃん。なんだかんだ言って、日本の税金はかなりまともに使われているほうだと思う

ある沸点を超えた瞬間から、そっちに行く

鳥：お金の発想はやっぱ、突き抜けちゃったほうが、早いんだね。手前で抵抗するより。ウジウジするより。

晃：和平さんが、小学生の時に、標語コンテストみたいなのがあって、「進んで納税 明るい日本」って書いたらしい(笑)

文：はやっ！…早すぎる(笑)

椎：それをまだ言ってますからね(笑) 80歳過ぎて(笑)

鳥：変わってないな(笑)

晃：そりゃあ、相当払われてるんで。…っていう、サンプルを聞くと、なんか、変わるじゃん。税金が増えて大変じゃん、って思っていた信じ込みが、払うっていう方に目標を変えると、すごく豊かになるよね、サンプルを見るとさ。「えええっ、ええー!？」みたいなさ。なんかその、制限を壊す話。で、壊れた人から話聞くと、ほんと面白い

晴：壊れた人って、和平さんの他にもいっぱいいますか？

晃：いっぱいいる

晴：普通の人持ってなさそうなメリット、どんだけあるのかな

晃：だって、平日にゴルフ来てる人って、みんなこんな感じだもん

文：ま、そうだろうね

晃：並ばないでゴルフする余裕があるもんね。むしろ「デメリットってなんですか？」って人も多いただろうしさ。そういえば、俺もそう思ってたな～。忘れるよね、昔信じてたデメリットとか

鳥：そういう人とばっかり接していたら、やっぱり発想が全然違う…世界

晃：そうそう。だから、その為に最初一回アンテナをそっちに振らないとだめだ。まずさ、楽に稼げる、ってこと自体、無かったわけじゃん、辞書に。でも何人か、楽に稼げるっていうサンプルを見ると「ええ〜!？」とか、なるわけじゃん。まあ嫉妬でも、憧れでもなんでもいいけど

鳥：そういうのもあるんだ〜って知ることからね

晃：で、「今からだったら、どれ選びたい？」って言って、「これ選びたい」ってなったら、そっちにアンテナが立つんだよね。そうするとそっちの情報をどんどんどんどん引き寄せるからさ。そうするとそっちのメリットが、圧倒的に増えていくわけよ。で、ある一定数超えた瞬間に自分の行動もそっちに自動的に変わるからさ。このへん、案外、平日やったほうが面白いのかな？ そうすると…お金に自由な人が来るかな

鳥：結構その…枠がゆるいほうが、効果が出やすくて、自分がサラリーマン時代だったら、ガッチガチの世界に住んでいるから、なかなかね…そういうわけにも…いかないから

椎：色んな職業の人のも、聞いてみたいっすね。主婦と、社長と、全然違うでしょうからね～

晃：こういうのって、なんかインタラクティブに、ネット上でかけたりしても面白いだろうなあ～。こういうインタビューって、面白いよね。だってハルだって、昔に比べたら、全然制限の無い人だらけでしょ？

晴：うん…全然

晃：二年前のハルから見たらさ、相当制限ないと思うよ。何で飯食ってんだか全然分からないけど笑ってる人って

晴：あ、うん、いるんだなって(笑) 本で読むと、架空の存在だから、「動いて喋ってるんだ」って思ってる。ほんとにいるんだな、って

晃：よく言われるのがさ、高級ホテルのラウンジでコーヒー飲んで来いって言うのもそういうことさ、商談以外で楽しそうに。俺もさ、二十代で良いホテルに行ったら、1500円のコーヒーとか飲むわけよ。もうさ、すごい「ありえない」とか思いながら飲んでるの。「おかしいだろうって」(笑) あの頃まだそんなスタバとか無かったからさ。でもみんな普通にお茶してるしさ、そこで。いや～こういう優雅な空間買ってるんだ、って思ってるさ。いや～お代わりしたいけど、もう一杯飲んだら3000円か、って思ってたさ、「お代わり」(近くのテーブルの人)「えっ！お代わりしてる!?お代わりってただなんだ!!」って(笑)

鳥：あ、そうそう、お代わり気になるんだよね～(笑)これお代わりできんのかなって

晃：で、やっぱ俺は粘りたいから、本当は紅茶を飲みたいんだけどコーヒーにしておこう、とかやってるとさ、「あ、すみません、足し湯」(別のテーブルで紅茶飲んでる人)「た、足し湯!?!?足し湯って、なんですかああああ!!!」みたいな(笑)

鳥：足し湯ってね、ポットでくるのかどうなのか気になるんだよ

晃：そうそう。足し湯って、何回までOKなのかな?とかさ(笑)でもそこに行くと、なんか凄いゆっくり時間流れた人たちの集団とかもいるわけよ。そうすると、そういう人たちといると、なんかそういう情報とかが入ってくるわけよ。マリーナとか行くと、何やってるのか分からない人たちとかいるわけよ。で、その人たちの世界観とか価値観とかをインストールとかすればいいわけよ。で、それを聞いて、絶望とかしなくていいわけよ。「あ、なんで僕はこうなれないんだろう」じゃなくて。そういう情報量を一定数以上集めたら、ある沸点を超えた瞬間から、そっちに行くからさ。だからなんかこう、聞いていく、っていうのを大事にしていけばいい

お金という「価値観」を、何と結びつけるか

鳥：晃ちゃんは、稼げるメリットって、こういうのがあるじゃん、って

晃：ていうか、単純に、楽しすぎる(笑)

鳥：なるほど、シンプルな言葉になるんだな～

晃：めっちゃくっちゃ…なんかね、「俺天才! ウェーイ!!」と繋がるの

鳥：なるほど。稼げる俺、天才、ウェーイ!と繋がるのね。凄い方程式だ

晃：うん! 超高性能っていうか、なんかほら…幼稚園の時に、駄菓子屋に行ったら、駄菓

子屋のおばあちゃんに 30 円出して買ってる間に、外の自販機でジュースが売れてるの。これ、おばあちゃんより高性能なロボットだ、って思ったもん！すげえ、とか思ってさ。そこから、きてるから

鳥：凄まじいな(笑)

晃：なんか、思いついて、なんか、やるとさ。凄いや、お金得られたりするから。ゴミ捨て場に行って壊れたテレビを、大体、あの当時ってチャンネルがおかしいだけだから、あそこを自分で直して。でリヤカーに載っけて秋葉原へ持ってくと、2000 円とか 5000 円とかで売れるわけよ。一か月の小遣いが 2000 円の時にさ。一日、5000 円だよ？スゴくね？ヤバイもう超アツいとか言ってさ、それでそのままインベーダーゲームとかやってさ。小学生なのに、名古屋撃ちとか、極めるわけよ？

鳥：言ってみりゃ、そっちの方がスゴいんだけどね(笑)

晃：いやでもほら、軍資金が必要だからさ、技を極めるために(笑)

鳥：練習するためにはね、お金、先立つものがね(笑)

晃：楽しむものと、超リンクしてるわけよ。お金あったほうがやっぱ面白いからさ、子供の頃から

鳥：そりゃそうだ

晃：高校生の時にさ、ママチャリを作ったのね。アルミで、オーダーで。ママチャリなのにタイヤを細くして、ギア凄く重くしてさ。で、4、50 キロ出るやつを作っちゃうわけよ。でも、外見(そとみ)、超ダサくしとくわけよ。で、わざとあの、俺プラモデルとか作ってるからさ。外をわざと錆の塗料とか、塗ったりしてさ。ボロっちく仕上げるのね。それで、レーザーのチャリンコを、ぶち抜いたりしてさ、遊んでたのよ(笑) ほんとはそれ一台作るのに、40 万とかかかるんだけどさ(笑) シマノの超良いパーツとか付いてるんだけど、それ全部シール剥がしてさ超ダサい感じにして(笑) で、手、冷たくない、変なあのフードみたいな付けて。で、前にわざと大根みたいな入れといたりして、すっごいイケてな

い仕様にしてさ

鳥：それ、テレビ的にも超、面白いな

晃：レーザーの奴が、「何だ!？」みたいな感じでさ。ていうのには、なんか、豊富な軍資金が必要じゃん? 「どうやったら作れっかな!？」みたいな考えでさ。で、思いついて上手く回るとさ、おお、マジ(俺)天才って(笑) なんか、そんな感じ

鳥：ふみちゃんは、同じような感じなの?

文：稼げるメリット?

鳥：うん。稼げたら、俺天才! ってのがあるかもしんないなって

文：あれなんだよね…神様、っているじゃない? 色んな…七福神もそうだし。神様って色んなこと、願い叶えてくれたりって、一般的に言われているじゃない

鳥：うん

文：縁結びの神様だったら縁結びが得意なわけじゃん。お金って、世の中の 9 割のことを叶えてくれるんだよね。お金って、神様だよね。みたいな。どの神様より、なんか結構万能じゃない? って

鳥：確かに確かに

文：神様好きだからさ(笑) お金って、神様みたいだな、って

晃：そうか、自分の好きなものとリンクさせたわけだ

文：そんな感じだよね

晃：それ、いいね! お金っていう価値観を、何と結びつけるか、だよね。神様が好きだっ

たら、神様を結び付けるわけじゃん。俺は楽しい、っていうのに弱いから、楽しいっていうのに結びつけるから。なんか、結びつくって強いんだよね

文：うん。神頼みするより、お金頼みするほうが早い、っていうか…。かなり、リアルだけどね(笑)

鳥：回りくどくなくて、一直線だね(笑)

晃：この世の、大変な出来事の 9 割くらいは、どうにかしてくれるもんね。かなり、してくれるよね

文：うん、かなりしてくれるよね

鳥：なるほど～

文：神頼みするよりも、お金頼み…

鳥：(笑)

椎：そうすると、なんか、お金、神々しいものに…

文：だから、なんか。素晴らしい、神様と同じくらいのものなんだよ。って、思ってるよ

晃：「和平さんにとってお金ってなんですか？」って聞いたら、「お金は愛の光がね」って言ってたよ

鳥：もう…なんかよく分からない(笑) 「あ、愛の光いい!？」みたいな。お金は愛の光って、文章は分かるんだけど、凄い

晃：いや結局今は、ネットの時代になって、お金が光の速度で動くようになって、「あんたのこと好きがね！」っていう、その、好きって人にお金を渡すから、光の速度で、愛が行き交う、みたいな。っていう風に、お金を捉えてるわけよ

鳥：なんかリニアモーターカーのセールスみたいな…(笑)

晃：いやだから、そういう、新たな価値観？そっか、お金持ってる人の、ユニークなお金の価値観みたいなのを紹介すればいいか

椎：僕、100個書き出しても出てこないですよ、そんなの

鳥：今、全く連携しない三つの言葉が、ぽぽぽんと繋がって、びっくりした
そんな日本があったか…(笑)

流行っているところへいっぱい行くと、そこがデフォルト設定になる

鳥：凄い印象的なことがあって、前、自由が丘に、美容院があるから、そこに髪切りに行ったら、「この店に入れ！この店に入れ！そこ右！左！」ってなって、入って、「あっ凄い
いい感じの雰囲気、さすが自由が丘！」って感じの店でランチ食べたんだけど、お店のお客さんが、昼時なのに、僕しかいないの。「ほらわかるか？凄い綺麗で、雰囲気が良いだろ？
でも、このお店は、お金の匂いがしないんだぞ」って。「へえ～っ、そういうの、あるんだ」
と思って嬉しいけどね。そういう場所と、そういう感じなんだけど、ちゃんとお金のエネルギーが充満してる広尾のようなところもあるっていう、その自由が丘と広尾で違うんだ、
っていうのをちょっと体感で教えられて。まだ俺には、はっきりとは分かんないんだけど、
同じように見えるけど、お金が無い、綺麗なこと、お金が有る、綺麗なところがあるんだ、
みたいな

文：お金の匂いはね、本当にあるから、それに敏感になるかどうかは、やっぱり…

鳥：うんうん。全然違うだろうね

晃：だから、一番シンプルなのは、とにかく流行ってるお店に行けばいいんだよ。で、流

行ってるお店にしょっちゅう行ってから、普通の店に行くと、あ、お金、流れてないね、
ってというのが良く分かるじゃん。匂いしないね、っていう

鳥：この前行ったお店は、自由が丘という良い場所にあるのに、美味しいお店なんだけど、
なんつうの。綺麗で、清潔なのに、お客さんが全然入ってないの。ていうこともあるんだ、
みたいな

晃：うん。あるある。

鳥：汚くて、不味かったらね、そりゃそうだろうと思うんだけど

晃：汚くて不味いのに、お金流れてるところもあるよね

鳥：あるある、そういえば。違う理屈みたいなのが、なんかあるんだね

晃：あるある。めちゃめちゃある

鳥：それば一般的には見えないんだな、っていう…

文：それはあれだよ、鍛えられるものだから

晃：心配もいっぱいするし(笑) 絶対いけるよとかおもったらなんか大失敗とかあるからさ、
普通に。アレ？みたいな。それば場数だよ

鳥：麻雀で危ない、みたいなと同じようなことか。感づく、みたいな。切らないぞ、み
たいな

晃：そうそう。それをなんかみんなね、匂いとかって言う。それってどういうことなのか
な、匂いとか言えないっていう。例えば俺、世界中、変な国とかも回ってたからさ、「こ
の路地行ったら絶対ヤバい気がする」とかさ、なんか、勘が鍛えられてくるんだよね。こ
っち通っておいたら大丈夫だけど、あっち通ったら危ない、とかさ。なんか匂いとか言
いようがない、っていうか

鳥：あ、それ、自分も、探偵だった時があるから。なんか勘が働くっていうか、「ん？」っていう感じなの。「ちょっと、こっちの方に行きたくない」っていうか

晃：で後輩君とかがさ、「それってどういうことっすか？」って言ってきても、匂い、勘としか言いようがないじゃん、なんか

鳥：だけどさ、アンテナが立つんだよね

晃：そう。アンテナ立たせて場数踏むしかないよね

文：その勘を検証するツールを一つ持ってるといいよね。僕は自分で占いとかやるからさ。これ、いけるかな？って。いけると思ったら占いで検証する、みたいな

鳥：そうかそうか、自分の思い込みだったりする場合もあるし、鈍っているときも、あるし

文：確信の度合が違うんじゃないかな。検証すると。これが OK でこれも OK だと、もう絶対 OK、いけるかなと

晃：勝負するとき、強いよね

鳥：自分が辿った、専門分野のところで、聞かれたら答えるの難しいんだよ

晃：でも、できるじゃん

鳥：分かることは、分かる

晃：お金について磨こうと思ったら、流行っているところへいっぱい行くと、そこがデフォルト設定になるわけじゃん。そうすると、お金流れてないところは何がいけないか、浮き出て見えてくるわけよ。あーこれここが壊滅的に無いわ、とかさ。いい仕事してますね、って人、いるじゃん。どうやったら目が養われるか、っていったら、ある一定期間、徹底

的に一流だけみればいいんだって。そうすると、二流三流みたときに、違和感に気付くからだって

鳥：なるほど、似てるけど違うな、っていう…。表面上は、似てるけど…。深い部分が違うからね

晃：うん。あれ？って、なるんだって。俺も昔その話聞いて、徹底的にその分野で成功している人と時間を共有するとか。そうすると、なんか、分かるわけよ。ゴルフもさ、プロゴルファーに囲まれてやるとさ、勝手に上達するの。で俺もまだへっぽこだけど、へっぽこと回っていると、やっぱへっぽこになるんだよね(笑)

文：ここ、言われてるよ、椎くん

椎：へっぽこですから…

文：認めちゃった(笑)

晃：でもさ、上達は超早いよね。椎くんのセンスもあるかも知れないけど、俺たちが始めた時って、超、全員初心者でやったじゃん。ある程度、一年や二年やって、初級から中級へきたタイミングで、椎くん来たじゃん

文：うん

晃：俺らの時って、全員初級だったの。で、今中級が多いから、引き上げられる速度が絶対早いはずなの

椎：それは、多分、感じますね

晃：最初酷かったもんね。みんな誰がどれだけ池に入るか、とかなんかさ(笑)

鳥：これ、何のスポーツやってるんだっけみたいな

晃：森や山を走り回ってたもんね。もう一緒に焦っても仕方ないもんだから

鳥：なぜかボールと一緒に旅に行くっていう(笑)

文：たまにはね、ゴルフ場を耕さないといけないからね

晃：でさ、「下、擦って火花飛んだ!!」、とかね(笑)

鳥：「今、かっこよかった!？」みたいなね

晃：そうそう。もう、ぜんぜん違うスポーツだったよね(笑) とにかく、お金がいっぱいある街に行くとか、流行っているところへ行くとか、一流って呼ばれているところへ行くとかをやると、全然変わってくる。お金持ちがどうお金を使ってるか。俺もほら、楽しいことにアンテナが立ってるから、ビートたけしとかフェラーリ何台も持ってて、フェラーリのエンブレムとか一回ひっぺがして、あの馬にコマネチをさせて貼ってるんだよね。凄くない!? 所ジョージは、フェラーリのマークを寝かせて、スピード違反かなんかでお巡りさんに捕まったときに「見てホラ、この馬寝てんだよ(笑)」とかさんざん言ったのに、なんかあんま、ノってくれなかったとかでさ

文：凄いな(笑)

晃：俺はああいうのに、なんかアンテナが立つわけよ。面白いな～とかさ。アルファロメオって車あるじゃん、アルトかなんかって車使って、「アルトロメオ」って作ったとかで。軽自動車を無理やり赤色に塗って作っちゃったりとか。フェラーリカリフォルニアって車があったから、ビートたけしが「カリフォルニアっていうくらいだったら、自分の生まれたところのを」って「フェラーリ足立区」っていうのを作ってさ。軽自動車ベースにして(笑) いやあ…おもしろいなあ!!とか思って見てるけどさ

晴：自転車のカスタマイズと凄い似通ってるような…

晃：いや、その遥か先を行ってるような。俺はなんかそれらが面白かったりするのね。例えば自分が憧れている人のお金の使い方見に行く、とかもアリだしね。例えば假屋崎省

吾みたいにお城建てたりとかさ。ああいうのを見に行くでもいいしさ。和平さんとかだつて、ね。日本を創った100人の偉人たちをさ、自分の好きなアーティストに8年掛けて彫らせてさ。それ純金にしてさ。金の価値だけで2・30億円なのにさ。あ、もっとか？分かんないけど。バーっと投げてさ、あげちゃうんだよ。所ジョージ以上だと思うよ(笑)

椎：いや、所ジョージが楽しいのは分かるじゃあないですか。和平さんは、その時点で何が楽しいのかよく分かんないっす…

晃：和平さんは、「この人達が日本を創ったおかげで、今の自分はこんなに幸せだ」って思ってるわけよ。和平さんこれなんで作ったんですかって、前に聞いたら、「ほれ、晃ちゃんだって、もし子孫が晃ちゃんを金のメダルにしてくれたら嬉しいと思わんかね？」って。「あっ…、ハイ」とか言ってさ(笑)

椎：器がでかすぎてよく分かんないっすね(笑)

晃：だから、そういう、よくわかんない器に触れるのって絶対大事なワケよ。宇宙って、なんか太陽系だけじゃなかった、的(笑) なんかあるじゃない？そういうの

晴：アンドロメダ大星雲…

鳥：確かにね、未知のことに触れるのは、面白さがね。違い過ぎて面白い、っていう

椎：なんかそういうのうに触れるのって、面白いですね

晃：触れていく内に、自分これ目指したい、っていうものに出会えたりするわけじゃない？そうすると勝手にアンテナが立つからさ

椎：昔、斎藤一人さんて…税金を納めてやるんだゲームみたいなのをしてるんだとか言ったら、その弟子の人たちも、なんか凄い税金を納める為に頑張った、みたいな話を聞いたんですけど、そういうことですよ

晃：うん。だって、商売人の社会貢献って、税金を納めることだからね。役人がさ、こん

なに金を稼ぎやすい国にしてくれた訳だからさ。だってさ、強盗とかいないじゃん。自動的にセコムとか雇ってるようなものじゃん。南米とか行ったとき、お金持ちはみんな刑務所みたいな家建てて住んでたからね。普通の民家の人も、ガイドさんとかが、ブラジル行った時にさ。強盗が攻めてきた時用に、枕元に、ライフルとか置いてあるわけよ。しかも満面の笑顔でそれを語るの。で、塀を登ってる時に撃つと、塀の外に落ちるから、これは犯罪になってしまうと。塀の内側に着いたタイミングで塀の中で死ぬから、これは犯罪にはならないと。そのタイミングで撃つようにしていると。それを、なんか嬉々として語ってるのよ。あ、俺、マジ日本で良かったわ、って思ったもんね(笑)

椎：思います、思います

晃：ずっと忍者のようにして寝てるんだぜ。ガサガサ、ついたらさ、ビクン！ってさ。イヤじゃない？そんなの。そんなことしないで暮らせる日本って、素敵じゃん。じゃあ、税金払ったらいいじゃん、て話だぜ？セコム雇おうと思ったら、全然安いじゃん

「ある」ってフォーカスすると、「ある」って現実が来る

晃：お金の足りないものにフォーカス、足りてるものにフォーカスっていう話だけど、足りない足りないってやると足りない現実がくるじゃん。足りてる足りてるってやると、足りてる現実がくるじゃん。「足りてるもの探し」って大事だよ。こないださ、名古屋で5万円のセミナーやったときにさ、お金が無いっていうことを滔々と語ってる人がいて、「いや、平日の昼間に5万円払ってセミナーへ来れるってうのは、貰っておいて言うのはなんだけど、あると思うよ〜」って(笑)「いやでもこのお金は、貯金を崩して…」って。「いやだから、あるよね？」って(笑) なんかさ、お金って、聞かれると、無いことアピールしないと嫌われるっていうの、あるじゃん。「お金あるんです」って言うとき、嫌われるからっていう、邪魔もあったりするんだけど。とにかくお金は足りている、有る、っていう風に気づかせたい。俺、放浪して、帰って来て、借金塗れだったけど、「冷蔵庫開けたら冷えたビールある、スゲ〜」とか、感動しまくってたのね。無いって悲壮感が、どこにも無かったの。幸せのボーダーラインが、かなり低かったから。ずっと、野宿とかしてたからさ。気温40度超えるところさ。「ビール飲みたいな」とかさ。ショボンとしてたわけよ。いつも温水、飲んでたりとかしてたわけよ。だからさ、「やべえ、冷蔵庫開けたら冷えたビ

ールすげえある」とか言ってさ。「ある」ってフォーカスすると、「ある」って現実が来るんだよね

鳥：今は違うかもしれないんだけど、昔感じてたのが、「無いって思ったほうが、あとあと増えるんじゃないか」という思い込み？があって。「ある、って言うと、油断して無くなっちゃうんじゃないの？」って思ってるから、多分、「無い」って思い込ませちゃうんだな、っていう気がしたんだけどね

晃：ああ、いいね、そういうの。なんかね、そういう話もいっぱい引き出したいの。結局、それって、ベースに恐れがあるじゃん。恐れがあるものって結局失うからさ。そういうのがいっぱい出て来ると、凄い盛り上がるね

鳥：でその時思ったのが、今思い出すと恐れを利用して、使わないようにするとか、それを利用して変なことに手を出さないようにするとか。防波堤のようにしておくからいいんだみたいな。晃ちゃんからすると、そうじゃないよ、っていう別の理屈がある

晃：それは、幸せっていう側面からしたらそういう幸せではないよね、っていう。幸せっていう側面で見たら、わあ、凄いな、嬉しいな、じゃん？

鳥：幸せを犠牲にして、お金をこう、必死に、なんか守っているような…

晃：うんうん。幸せとお金は両立させたいからさ。だから、油断して無くなる、っていうよりも、感謝に溢れて、より、増やす、っていう考え方もあるわけじゃん

鳥：それをやらないと、最終的にお金増えても、嬉しくない

晃：お金を守ろう、守ろうという方に走って、大変だからさ。増えたら凄く怖くなるから。「ある～」っていうものに、フォーカスするっていうかさ。で、それを、「ああ～幸せだ」とか「うわあ～嬉しいな」って、言って貰う。「ああ～お金あって良かったああ!!」とか、ちょっと馬鹿っぽく(笑) あ、でもね、ほんとに効果あるんだよ。とりとり、最近、バイク乗ってるの？

鳥：いや、最近はね、乗ってないな

晃：最近は、何やってるの？

鳥：やってるのは…戦車ゲームとか？戦車に乗ってるの(笑)

晃：ターボ君とかと？

鳥：そうそう

晃：それって、お金、かかるの？

鳥：そうそう。お金をかけた方が、その、乗員の成長が早いとか(笑) ウマイ手があるのね！
ちょっとしたいい戦車を買える、とか。経験値がたくさんある戦車とか、レアもんだから、
欲しくなる

晃：それ、買ったりしたの？

鳥：最初、買ったね(笑)

晃：というときに、「お金あって良かったな～」とかって

鳥：絶対思う、絶対思う(笑) それはほんとに思う

晃：で、敵やっつけて、「いや～金のおかげだよ」なんて(笑)

鳥：そこはね、ホラ、ちょっとしたプライドもあるから、「いや、金もね、あるかもしれないけど、俺の実力だから」って言いたいんだよね(笑)

晃：だから、実力も金も、両方あるからって言うわけ

鳥：おお…その通り(笑) そうだね、反比例しちゃう感じ、あるね。なんか

晃：だから、両方、楽しめばいいわけじゃん？お金も実力もあるから、俺マジ最強！とか言ってさ(笑)

鳥：そうだよ。ゲームで課金とか言うと、ついつい「それはお金の力だろ」とか言う人がいるけど、そうじゃないっていうか

晃：俺この間、歩さんから聞いて超ウケたのがさ、スマホのゲームで、何だっけ

鳥：あ、モンスター…モンスター？

晃：そう、相当課金してるから凄い最強らしいの。で、超子供から尊敬されてて。子供の友達にもそれ見せると、なんか全員超リスペクトしてくるみたいでさ。そりゃそうだよ(笑) 親の財力使ったら凄いよね

鳥：短期間にね(笑) 時間掛けずにもう最強まで行っちゃうぞみたいな

晃：スネ夫君の上いくもんね(笑)

鳥：いいね。子供は素直にね、スゲ〜って(笑) 「そうだよ、これ凄いだろ？」って

晃：だからさ、お金あって、使ったものを凄いだろとかさ。おお、良かった、とかさ。強いよね

鳥：お金の力を肯定するようになるもんね

晃：「うわあああ、お金あって良かったあああああ！」とかさ

感謝すると増える

晃：「ああ、お金あって良かった！」って、俺、凄いマジックワードだと思うんだけど

鳥：ゲームでも俺、感じてることがあって、確かにお金無くて頑張ることもできるんだけど、かなり努力しなきゃいけないんだよね。つまり、10 試合で、戦車に乗ってさ、搭乗員が成長するところを、100 試合やらなきゃいけないわけ。下手したら他よりも 10 倍頑張らなきゃいけないわけよね。それよりもお金ちょっとでも払って、プレミアムアカウントってやつを取ってしまえば、経験値が一試合で 1.5 倍とかだからさ。「あ〜もう、そっちの方が楽！」みたいなね。目覚めるとそっちになっちゃう

晃：俺も今スマホでやってるさ、戦争ゲームがあってさ。うちのチーム、全世界で 6 番目なんだよね(笑) それでさ、25 日過ぎたじゃん、それで昨日、すごかったんだよ課金祭りで。給料日のせいか(笑) 課金すると全員にプレートが送り付けられるんだけど、チームの人全員に、すごい、バンバン来てさ。みんな褒めあってたのね、「25 日は強い!!」みたいな(笑)

鳥：さすが 25 日(笑)

晃：俺たちのチームさ…ちょっと見せるよ…。あれっ、攻められてるいつの間に

鳥：油断して攻められて(笑)

晃：あ、6 位だ 6 位、ほら…JAPAN ってのが俺の属してるやつ。世界 6 位でさ。俺はこの真ん中にいる

椎：ほんとだ。センターにいますね(笑)

鳥：へえ〜、アツツいなあ!!(笑)

晃：そこそこ課金してるからね(笑) 攻められて悔しい思いするとさあ、「ちょっと待ってろよ、お前」つつって。課金して強くしてやり返したりさあ…。ホント子供なんだよな(笑) 昨日 RIMOWA のさ、旅行用のスーツケースを買ったの。RIMOWA のスーツケースのグレードの上のやつって、荷物を引っ掛けられるフックみたいなものがあるんだよ。俺の欲しい

色のやつはそのグレードのが、無かったの。買えなかったんだよ。そのパーツだけを取り寄せてね…作ったんだよ…！凄いね…凄い幸せでさ…。こういうね、ここの部分を、こいつに付け替えるの。で、このアフターパーツを買って。どこの家にでもあるホットカッターってやつを使って…

椎：無い無い(笑)

鳥：無いよ～(笑)

晃：ハンダでこう、ドウア～～って穴開けて、おおよそこう切ってでこうやって、開けてから、綺麗に仕上げるのね

全員：おお～

晃：んで、嵌めて、でこのステッカーも、元にあったやつをさ。60度のお湯に10分浸けると剥がれやすくなるから。で、完成！

椎：すげ～

晃：やべえ、超アツい!!とか言ってやってたのね(笑)

鳥：大人の夏休みの工作みたいな(笑)

晃：そうそう。このスーツケース、8万くらいすんのに、いいや!って。ホットカッターでガーッ!!って(笑) ま、失敗しても8万払えばいいやってさ

鳥：いいね、やっぱお金あると楽しめるね。いいね、8万無い!とか思ってるって怖いもんね

晃：俺昔からそうで、初めて買った車が7万円だったのね。ランサーターボって車。で上にラリーアンテナっていうのを付けたのよ。自分でドリルに穴開けて付けたんだけどさ。そんなとき缶ビール飲みながらガレージでやっててさ。「真ん中どのへんかな?」ってもう一人の友達に聞いたたら、「うーん、この辺、もうちょっと右」とか言って。「この辺だよね～」

とか言って、ガーーーーッ!!って付けちゃうの(笑) 酔っぱらっちゃったとき付けたから、微妙に左でさ。ちょっと残念なんだけど(笑) だから、「あ〜お金あってよかった」って大事だよ。感謝すると増えるじゃん?だから、無いものにフォーカスするより、あるものにフォーカスしたほうが増えるって法則あるじゃん

鳥：だってねえ、そのゲームだって、(お金が)無いとどんどん順位下がって、「ああ〜」だけど「(お金が)あるからよかったああ〜!!」みたいな、あるもんね。戦車ゲームもさ、クレジット、っていうのがあんだけど。ゲーム内で使える、お金みたいなものがあるんだけど。それがあると、特殊な砲弾が買えるんだよ(笑) この弾だと貫通力が上がります、みたいな

晃：ターボ君とか、相当使ってるんじゃないの(笑)

鳥：で、(普通の砲弾だと)跳ね返されるから、「くそお〜」ってなるんだけど、「これならちゃんと撃ち抜ける〜」って(笑) 強敵な戦車も倒せるぞ、って。あれはデカイ…爽快感が違うもんなあ

「あ〜良かった」って言っていると、「あ〜良かった」ものに使い始める

晃：なんか、「書き出す」って毎回やると、場が沈むの。だから、「考えないで隣の人同士と話して」ってやると盛り上がるのね、最初から。あのね、「書いて」って言ったときのみんなの真剣な顔と、凍り付いた空気感が俺、なんか居たたまれないの。で、隣の人同士でやると、最初からホットな雰囲気になるのね。意外と話すと出てくるから。「大したことないんですけど」って、あの枕詞が凄いいいの。お金の恩恵って、凄い受けてるじゃん?

鳥：お金あって本当にやりたいことができたりとか、ほんとに味わいたいものに辿りつける、っていうのはあるなあって思って。そのゲーム?もやっぱりそうだし。それに行きたいのに、「なんかお金ないとだめだ」って。お金のせいでほんとに味わいたいものを味わえないのって図式は、凄い残念だなあって

晃：それはそれであるんだけど、そこにフォーカスすると、それが育っちゃうわけよ。フェイスブックとかさ、友達の投稿とか見てると面白いんだけどさ。足りてるものにフォーカスしてる人と、足りてないものにフォーカスしてる人って、超二極化しててさ。で、やっぱり足りてない人は、足りてない人生のシナリオを歩いてるしさ。ずーっと批判ばかりしてるしね、なんか

鳥：お金ないって木を持ち続けると、別の木がずーっと、なんか育って行って、結局お金を恨んじゃうっていう。無いほうがいいんだっていう

晃：そうそう、武田双雲とかよくわかんないことにまでいっぱい感謝してるんだよね。で、よく回ってんだよね。「ここ感謝するんだこの人!？」とか思いながらさ、凄いなと思うよね。それはやっぱり、ほっといても良いものいっぱい来るからさ。「これは見習った方がいいよな〜」って思ったりさ。ほんとフェイスブック上で良いサンプルがあっさ。それぞれみんなの言いたいことばかり言ってるじゃん。で、2年3年経つとみんなその結果がどんどん分かってくるわけじゃん

鳥：分かる。フェイスブックの怒ってばっかのニュースをさ、リンクリンクばっかしていく人と、良いことあった〜っていうのを(書く人と)全然違うもんね、見てて。この人、しょっちゅう、あれにもこれに怒ってるな〜みたいな。じゃあ、ちょっと(フォロー)止めよう、みたいな。見ないようにしよう、とか思うしね

晃：俺ね、そういう人は、面白がって見てるの。それを嫌、ってやると、今度は嫌なものに引っ張られるじゃん。そんな自分がいてさ。それを憎んだりとか、無かったこととかすると、多分もう、引っ張られる…とか。それを面白がって見てるの。ファール博士みたいな感じで、「あ、カマキリさんて他の昆虫食べちゃうんだ」みたいなさ。「カマキリ、ひでえ」とか言わないじゃん多分あの人。「そういう生態なんだ」って、ファール博士のように見てるのね。「あ、また怒ってるう〜」「じゃあ、明日も怒っているもの見つかるのかなあ?」「あっ、今夜もう見つけてる!」とかさ(笑) 「あ、この人また感謝してる〜」とかさ。なんか、こう、あるんだよね。で、どんな人生歩みたい?ってなる。お金あることにフォーカスしていくと、勝手に増えるよ

鳥：お金あることの喜びを、いっぱい味わうといいのかな

晃：うん。「あつて良かったな～」とかさ。お金ってこう、使うときに、大半の人は、「あ
あ～、無くなる～～(´・ω・`)」って感覚になるじゃない？その無くなる、って感覚じゃなく
て「あつて良かったな～！(°▽°)」って感覚にするだけで、違うじゃん

鳥：今は、そっちが増えた気がするんだけど、昔そういえば、そう思って、使うんだけど、
こう、不満を解消することに使ってたなっていう気がしてて。それって、「あ～良かった」
じゃないもんね

晃：そうそう。これ、面白いのは、「あ～良かった」って言っていると、「あ～良かった」も
のに使い始めるわけよ

鳥：おお～

晃：で、ごはんも、「あ～美味しかった」って言うと、美味しいものばかり食べるわけよ。
それを言っていないと、ポテチとかに走るわけよ。ジャンキーなお菓子に。で、デブになっ
たりとかする

鳥：この感覚は、同じように使ってる感じなんだけど、違う感覚なんだね

晃：違う。「あ～良かった」って言っていると、「あ～良かった」モノに囲まれるわけじゃん。
来月からハワイ行けるんだよね、俺。お金無かったらさあ、トム・ハンクスの「キャスト・
アウェイ」みたいにさ、筏作って行かなきゃみたいなさ

鳥：ああ…お金無い場合の、ハワイの行き方(笑)

晃：ちょっと、無理じゃん？(笑)

鳥：なんでハワイに行くのに、こんなにしんどいんだ、みたいな(笑) 楽しみたいのに

晃：うん。椅子に座って7時間、飯食ってさ、アロハだよ？すごいじゃん!!

文：ふふ…そうだね

晃：うん。座ってれば、着くんだよ!?ディズニーホテル泊まってくるわけよ(子供が)好きだから。なんか、いちいち高いの(笑) なんだこ高いネズミは…とか思いながら。でも「俺がこれをゼロから用意するのは容易じゃないしな」みたいな。「あってよかったな」って思ってたさ

鳥：確かに…そりゃそうだ(笑)

晃：このネズミの餌代高いな！とか思ってさあ

鳥：よく食べるネズミだ、ってね(笑)

晃：そうそう…(笑) そう、思ってもいいけどさ。せっかくなら幸せにしたほうがいいからさ

お金は「感情の増幅装置」

晃：お金のブレーキを外す…そう、お金で遊んだ話すると、お金で遊んじゃいけませんとか、普通言われるじゃん

晴：(お金に触ったら)手を洗いなさいとかね

晃：俺、お金にアイロンかけてたからね

晴：綺麗に、伸ばしたくて？

晃：うん、なんか…テンション上がらない？

晴：かけたことないから、分かんないなあ(笑)

山：え…スチーム無しで？

晴：さすがにスチームはやばいんじゃないかなあ

晃：いや…意外と平気だったよ。怒られちゃうかなあ？小学生のときお年玉とか貰って、お年玉袋とかって、なんか4つ折りされてんじゃん？なんかあれが嫌でさ。なかなかホラ、子どもの時って、お札を手にしらないじゃない？1日のお小遣い、100円とかだからさ。サンポールかなんかのCMで、10円玉かなんかをピカピカにするCMがあったんだけど。速攻、やったもんね(笑) 「お母さん、サンポール無いの!？」とか言ってさ。全部10円玉ピカピカにしたもん

文：相当好きだったんだろうね

晃：でもなんか、嬉しくない？自分のお金が綺麗になるのとかって

山：嬉しいんだけど、すぐまた使うものだから、なんかまあいいかなっていう

鳥：なるほどね。渡しちゃうもんね。コレクションだったらいいけどね

晃：手にしてる時、渡すことなんか一切考えない(笑) 一切考えてないの

鳥：お金そのものに対する、喜びの感じがするね

晃：なんか、俺はそうだった。随分前に、神田さんとそういう話題で盛り上がってさ。「洗ったりしたよね？」とかさ。お金を貰っちゃいけない、とかそんなに自分には価値がないとか。これ5回目のあとのテーマでやるんだよね。お金を貰ったらいけないとかさ。さっきのとりとりの、「いっぱいもらっちゃったら、ああ～」とかさ。あげたいからあげるわけじゃん、お金って

鳥：お金ってさあ、凄い加速装置なんだよね。さっきのさあ、ゲームであったけど。喜び

がさあ、凄いワァーっと大きくなるし、お金のおかげで不満を解消するためにもお金を使おうとするんだけど、解消されずに…

晃：そうそう、あのね、感情のブースターなの、お金って。増幅装置なのね

鳥：解消されずに、不満がでかくなっちゃうな、とかって

晃：ブースターって書いてるんだけど、だから、何を思うかで、凄く変わるから。お金が怖い人っていうのは何かこう、思っているものがネガティブだとさ、そうなっちゃうわけよ。だから、超切れる包丁を、「美味しい料理作れる」って人もいれば、「人殺せる」とか「銀行強盗できる」って思う人いるわけじゃん。お金はそのエネルギーを大きくするだけだからさ。だったらクリーンエネルギーにしといたほうがいいじゃん

鳥：根本的になにかを解決するっていうよりは、自分の有り方を教えてくれるものなのかな

晃：そうだね。解決にお金を使ってばかりだと、常に問題のある人生を歩むわけよ。だから俺、喜びにフォーカスするようにしてるの

鳥：最初のコンパスの位置を、違う位置から展開しちゃうと、「いやあ〜、とんでもないところに大砲が飛んで行っちゃう」みたいな

晃：そうだね。所ジョージとかは、別に問題解決に使ってないじゃん。普通の人から見たら、すごく意味の無いものに使っているじゃん。でも本人、至って幸せそうでしょ？

鳥：なるほど。それすごく誤解していた気がするわ。「解決できるんだ」って思ってたかもしれない、お金があれば

晃：まあ、ぶっちゃけ色んなものが解決できるけれども。ただ、解決ばかりにフォーカスすると、問題を引き起こすからね

鳥：また解決するために…「よしよし、また解決するぞ！」みたいな。わざわざ問題がや

ってきて、「はいお金で解決」みたいな。「あれ？ほんとにやりたいのこれだけ？」みたいなね

晃：そこに喜びがある人は全然それで良いと思うの。別に、…ね？ただ俺はしんどいから。ほんと問題解決好きな人は好き、だからさ。共通の、文ちゃんとか、ゴルフやる仲間の一人がさ、自殺をテーマに扱ったカウンセリングを、イ・キ・イ・キと語るんだよね…!!そういう人がいたの。そういう人は、それやった方がいいと思う(笑) もうびっくりしちゃうよね。すごい嬉しそうに語ってたよね

椎：うん…かなり嬉しそうでしたね(笑)

晃：俺そういうテーマで相談されるとちょっとしんどいのね。ちょっと、っていうか大分しんどいの。で、「一歩間違えちゃったらやばいかな」とかさ。すごい、ぐるぐる考えるんだけど、すごいその人嬉しそうに語ってて

椎：急に喋り出しましたよね(笑)

晃：それまでずっと黙ってたのに、ドゥア～～って(笑) そういう人はそれで良いと思う。たぶんその人は解決が喜びになるからさ。自分の喜びは何か

鳥：喜びのブースターにもなるし、不満のブースターにもなるのかな、要は

晃：そっか、まず第6回目の最初に教えたいのは、「お金って、感情の増幅装置ですよ」から、やろう。みなさんが、こう思ってる気持ちを、大きくする存在だから、悪く思ってる、悪いものを大きくするし。良く思ってる、良いものを増幅するし。「このお金で世界を良くしよう」って思ってる人は良くできるし。「このお金で戦争を起こそう」って人はできるし。「このお金は自分の喜びを追及しよう」って人は更にできるし。「このお金で自分の悲しみを追及しよう」って人はそれもできるし。良い悪いじゃなくて、自分の感情の増幅装置なんだよと。「お金って怖い」って人は、まず最初にある自分の種の部分の気持ちが変わる方向に向いてるとそれが大きくなるから、じゃあ良い方向に向けられればいいんじゃないのと。まあ非常にシンプルな話で。その為にお金にまつわるネガティブなストーリーとかって

うのをこれからどんどんサンプルを出してクリアにして行きましょう！みたいな話をして、それは5回目の時に色々やりましたよね、と。「みんな色んな勘違いがあつたりとか、新しい価値観に触れましたよね」と

ここでスタックしてる時、それが増幅しちゃうじゃん。例えばとりとりがさ、さっきお金稼ぐのが大変なことだと思ってる時。時々さ、大変だと思っても時流の波に乗るとき、自分のビジネスがボンとおっきくなる時があるのよ。「良かったですね」って周りが言っても「はあ~もっと大変なことが起きる」って喜べないのってあるじゃん。それって、辛いからさ。人は信じ込んだものを、実現化しようとするからさ。で、自分は何を信じ込んでいるのか、他人の信じ込みとカリストアップしないと分かんないんだよね

でここでこう、5回目で綺麗に出したあとに、6回目で、「お金ってね、自分の気持ちを増幅させる装置なんだよ」。で、ハルのメモのところにある、「お金で遊んじゃいけないよ」とか「貰っちゃいけないよ~」とか、「親の年収を超えちゃいけないよ~」。親の人生を正当化したい人とかね。これは前に言ったけどさ。例えば親が、自分から見て苦労していると、その親よりもチョロいことして稼ぐと、親の人生がしょぼく見えるんだよね。良い子供だと、正当化したいから、なんかちょっとしょぼい人生を生きて、「お父さん凄かったね！」みたいなさ…やっちゃうけど。なんか違うじゃん？そういう、深いところにどんどんアプローチしていこうと思うの

鳥：そういう話って、結局お金が何かの原因を引き起こしているって誤解してて、晃ちゃんはお金は何の原因も引き起こしてないんだよね？

晃：うん。ただ、増幅させちゃうの

鳥：自分の、別のことが原因

晃：そう。だから、増幅する前は、大した問題じゃないわけよ。増幅するともうの凄惨な問題なの。例えば、親戚同士ちょっと仲が悪くても、それはそれで済むんだけど。一人、超大金持ちのおじさんとかがいて、「さあ遺産相続です」ってなった瞬間に骨肉の争いになるわけじゃん。で、金が無ければ…ってなるけど、「いやいや、金の前に、僕たち仲が悪かったのが悪いわけじゃん」って話になるわけよ。でも、ぶっちゃけた話、金がそんなに無かつ

たら、そんな問題にならないわけじゃん。なんか適当に嫌っておけばいいか、とか、なんかあんまり関わらないでおこう、とかってなるけど、そこに自分が一生かかっても稼げないようなお金とか、ドン！って遺産とか来た瞬間に、骨肉の争いが起きる(笑) だから、まず増幅装置だよと。お金に問題は無いよと。最初に仲悪かった僕たちが悪いよねと

鳥：みんな何気に、原因を誤解している…

晃：誤解してる誤解してる。あ、それも説明した方がいいね

鳥：だって車だったらね、別に、事故ったら、「あ、この車のせいだ」って。だってそうじゃないのに。だからもう。車にガソリン積まないし運転しないしって言って。無用の長物にね、お金出したってしょうが無いし

晃：スポーツカーもさ、腕の良い人がさ、ちゃんと法律守って走る分には良いわけじゃん。腕の無い人が法律破って走ってもさ、事故起こすわけで、車に罪は無いじゃん。ちゃんと腕を持った人が、しかるべき場所で走ったら、最高の感動を生むわけじゃん？結構、お金もそういうことだからさ。で、最終的に、そういうお金のブレーキ外したりとか、やって、喜びのフォーカスの話をして、最後、「ああ、お金があって良かったな」と。口癖にしてくださいと。そうすると、良いものに使えるからと

鳥：そうか、今までお金の本色々読んでみたけど。ここが一番ポイントだよな、って感じがする

晃：本当。書いてなかったっけ、こういうのって

鳥：お金の本って色んなテーマで出てくるから。情報だけ入るんだけど、確信がイマイチ分かんない感じかな。今ようやく分かったのが、お金のせいだ、とかお金がマイナスだっていう思い込みが、根本的にはまったく違うっていう…定義、なんだよね。この部分って

晃：そう。ほんとにね、愛を表現したい人は、より愛を表現できるし。憎しみを表現したい人は、より憎しみを表現できるし

鳥：これはさ、想定だけどさ。増幅装置だから、お金の匂いがする、しないというよりも、要は増幅されてるか、されてないか、ってのはあんのかね

晃：だから、その人の思いが、お店の思いがより大きくなるわけじゃん。お金が集まると。無いと思いがそのままになるわけじゃん。また、テーマがズレちゃうんだけど、要は、「それだけ拡散しても良い」って、OKが出てるわけよ。「拡散しちゃ困る」って人は拡散しないようになってるからね。「怖い〜」、とかさ

鳥：お金の匂いがする場所っていうのは、お金への思いが、ちゃんと、ある意味「ノってる」ところってことなのかな。いいか悪いか分かんないんだけど、銀座、広尾、六本木とかっていうのは、お金への思いが、こう…「夢にノってる」のかな

晃：まあ、集まってるからね

鳥：逆に、なんか自由が丘とか、自由な空気のこと

晃：自由が丘とかもさ、ワンプロック違うだけで、全然、変っちゃうからさ。普通の居住区もあるしさ

椎：お金払うことでコミットしたりも、しますもんね。ライザップとかも、あんだけ高額だから、たぶんみんな痩せようと思うわけじゃないですか

晃：そうだね。3000円だったら脱落するよね

椎：ライザップとかって、ノウハウを売ってるんじゃないで、コミットを売ってるんじゃないですかね

晃：そうだね。

椎：あれ、40万くらいじゃないですか。僕、晃ちゃんに40万あげて、「2か月後に10キロ痩せなかったらこれあげます」「10キロ痩せたらこれ返して下さい」ってやったら、結構一生分くらいの効果あるんじゃないかって思いますもん

晃：…(40万)出せよ

全員：(笑)

椎：体重計をなんか、インチキして(40万を)持っていきそうな勢いですね(笑)

晃：食うのは馬鹿です

鳥：いや～晃ちゃんさすが、椎くんにはストレートに…「払え、出せ」って(笑)

晃：あ、鰻太るから、俺、食ってやる

鳥：もう、マーケティングを全くかけない(笑) 単刀直入に(笑)

晃：いらんいらん。駆け引きとかいらんから(笑)

椎：エネルギーを大きくするっていても、金払っちゃえば、やらなければしょうがない
みたいな状況になりますよね

鳥：コミットでね、確かにブースターかかるもんね、気持ちの。そりゃ、そうだな

晃：最初の、根っこが大事だよ

晴：根っこ…

鳥：そうなんだよね～。根っこで全然、もうさ～～。ロシアか北極に向かっちゃうのか、
ハワイに向かうのかが決まる、みたいなのがあって

晃：憎しみにも、いくらでも使えるもんね。俺も人間だから、復讐心とか生まれるわけよ。
でもゲームと違って別にさ、傷付けないじゃん、誰も。なんだろう、その…決められた世
界の中だけじゃ。「てめえ、こいつ、俺が寝てる間に爆撃しやがって」とかさ思うわけよ。

で、やり返したりしてやるんだけどさ。でも、それで実際に誰かが死ぬとかってわけでもないじゃん。人間だからそういう気持ちが生まれるのは仕方がないけど、それをやっぱヴァーチャルで使うのって俺は凄くいいなと思ってる。ほんとに戦争、バチバチやったら洒落にならない。あとはオリンピックみたいにさ、競い合うのもさ。オリンピックだったら、誰かを殺すのでもないしさ。そういうのだったらアリだなと思っさ

苦勞はいらない

鳥：すごいな。第6回はお金の核心だな

晃：あ、そう？

鳥：だって、これが無かったら、何が実現するかはその人次第。何を学んだとしてもね。なんか、晃ちゃんに共感するのは、ここにある根底はさ、やっぱ人生はこう、喜びばっかりのほうが、嬉しいじゃん、っていうのがね

晃：幸せをテーマにしてるからさ、幸せにフォーカスしたほうがいいじゃん

鳥：わざわざね、努力、苦勞、頑張りとかのことに、お金使ってなってしまうのは、悲しいしね

晃：なんかね、ほんと俺、最近思ったんだけどね。3日前か、心さんと一緒に飯食っててさ、色々喋ってたんだけど、「苦勞は、いらないよね」って話。「あれ、百害あって、一利無いよね」って話。ほんとそうだなと思って。「苦勞があったから上手くいったんですよ」って言われるたびに違和感あるよねって。俺たちネットで上手くいったときなんて、缶ビール飲みながらさ、「このアイデア、アツくね？」って。それで上手くいったんだよ。なんか色んな人が話聞きにくるとさ、「ちゃんと何か言わなきゃいけないのかな？」って、自己啓発の本読んでさ、それ言うとみんな感動してくれるんだよ。俺上手くいくときにそんなん読んでなかったもん

鳥：その喜びを、何度も味わうのは、ビールを何度も飲むような感じでいいけど。苦勞を、再生産何度もするのは嫌だし

晃：苦勞ってやっぱねえ、メリットがこう、凄いいっぱいあるわけよ。人からケアして貰えるとか、嫉妬されないとか。認められやすいとか。超メリットあんの、苦勞って

鳥：何気に

晃：何気に。だけど、苦勞を自分がすると、その苦勞が自分の中で成仏しないと、苦勞を押し付けるわけよ。ちょっと前にさ、20代くらいの子たちで凄いいんなことが分かってさ。上手く回してる子たちがいて、俺はそれ、失敗して学んだから、「お前らも苦勞しろよ」って言いたい自分がいたの

鳥：ああ～～分かる分かる、それは。そう、それつい言っちゃいそうだね

晃：「あれ、なんか違うな」と思って。で、「苦勞を知っとかないと、後で失敗したとき復活できないよ」って、言いたくなる自分が出てきたの。いや、失敗したときに学ばばいいじゃんって。そもそも失敗するかどうか分かんないし。なんだろ、自分の中で、消化しきれてない苦勞って、他人にも押し付けるんだよね。あれ、ぜったい、いらぬいな、と思つて。「上手くいって良かったね～」つつつてさ。それを喜んであげるほうがいいや、って。そっちのほうが幸せじゃん。で、苦勞って正当化しやすいからさ。正当化しない(キツパリ)!

鳥：それは…晃ちゃんのどこでやったらいいとか、あるの？

晃：ん？やるって？

鳥：苦勞の、メリットって

晃：あのね、苦勞って。「苦勞」って、すると、見返りが欲しくなるのね。だから、苦勞したことは、手放せなくなるわけよ。それって例えるなら、パチンコをやってる人と一緒に。パチンコで負けた人って、なんか、「貯金した」って言うんだよ、パチンコ屋さんに。で、「もう満期だから降りてくるだろう」って、行くらしいのね。で、パチンコやらない人か

ら見ると「いやそれもう止めよう？」って話になるじゃん(笑) 「いやでも、これだけ貢いで貯金したんだから、返ってくる」って言うわけよ。それちょっと椎くん分かるでしょ

椎：うーん、なんとなく分かりますね

晃：パチプロじゃなくて、普通のパチンコやってる人

椎：うん、はい、よく言いますよね

晃：そこで止めると今まで貯金したものがペアになるわけよ。で、潔くペアにしようか、なんだよね。だから今までしてきた苦勞を潔くペアにしちゃおうか、なんだよね。できないじゃん、やっぱり。椎くんみたいに、なんかフラフラしてるとさ、周りがよってたかって苦勞しろって言うてるだろ(笑)

鳥：「お前頑張ってるのか？」なんて(笑)

晃：俺ですら思うもん(笑)

鳥：やばい、晃ちゃんに思わせてるくらいだから(笑)

椎：苦勞したヴァージョンの話もね、ありますから

晃：それ言って、免罪符にするじゃん？

椎：そうです(キリッ)一応だって、そういうの無いと…めんどくさいでしょ？

晃：そうそう(笑)

椎：だから晃ちゃんとか、凄い楽ですよ。そんなこと言わなくていいですから

晃：だから、言わないじゃん。必要ないんだよね

椎：必要ないです

晃：必要…ないんだよ。ただ、嫉妬されたくないから言うだけ。だってさ、「和平さんのだけ、何で株が上手くいくんですか」って(聞いたら)「みんな、買う時な、これが上がると思って買うがね。なんで儂のだけ上がるのかと言うとだね、過去世で良い縁があったからって思うんだよね」って。「えっ、そこ!？」って思って(笑) 「そこですか!？」って。やっぱさ、一般には言えないじゃん、それって

鳥：なかなか、分かりづらいところだよね(笑) そこって言われても、って。再現性が無いよねほんと(笑)

晃：うーん、…無いよね(笑)